

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書【ベトナム】

担当講師	稲川 文夫 (SESPP 事務局 技術顧問)
実施期間	2019 年 9 月 18 日 (水) ~ 2019 年 9 月 20 日 (金)
実施場所	ベトナム社会主義共和国・ハノイ市 ハノイ工業大学(HaUI)
研 修	技能評価技法 (SEM) 第 1 回
実施職種	機械検査

2019 年 9 月

結果概要

1. 対象者数：受講者数 6 名（第 2 回をもって修了）

2. 日程

日時	指導内容
9 月 18 日（水） 8:30～16:30	【技能評価技法（SEM）1 日目】 機械検査技能検定試験基準の解説
9 月 19 日（木） 8:30～16:30	【技能評価技法（SEM）2 日目】 機械検査技能検定試験基準の解説
9 月 20 日（金） 8:30～16:30	【技能評価技法（SEM）3 日目】 機械検査 3 級学科試験問題（True-false）の作り方 機械検査 3 級学科試験問題（True-false）の作成

3. 講評

- 今回の技能評価技法（機械検査の基準と細目のベトナム語への翻訳と問題作成ワークショップ）で、日本の技能検定（機械検査職種）の基準と細目のベトナム語への翻訳が完了した。これをベースにして 1 級、2 級及び 3 級ごとに「試験科目及びその範囲並びにその細目」(1)技能検定試験の合格に必要な技能及びこれに関する知識の程度、(2)試験科目及びその範囲、(3)試験科目及びその範囲の細目を記述し、表にまとめると、機械検査職種の技能検定試験の基準と細目のベトナム語版が完成する。次回の SEM（12/23～25）において、DVET と HaUI にこの完成版を説明し、提供することとしたい。併せて、NOSS の中に機械検査職種を構築するように要望することとしたい
- 参加者には、過去の経験が生かされており、作業をスムーズに進めることができた。また、12 月の SEM では、1 人当たり 5 問の学科試験問題を作成してもらうこととし、担当する科目分野を割り振った。旋盤、フライス盤での学科試験問題作成経験を生かして、適切な機械検査 3 級の学科試験問題が作成されるものと期待している。

4. 受講者へのアンケート結果

◆受講者 6 名（回答者 6 名）

満足度：大変満足	=6 人	満足	=0 人	どちらともいえない=0 人
役立ち度：大変役立つ	=5 人	役立つ	=1 人	どちらともいえない=0 人
継続期待度：是非とも継続すべき	=5 人	継続すべき	=1 人	どちらともいえない=0 人

【有意義な内容・項目は何だったか？】

- 機械検査に関する知識補足となっており、3 級の適切な問題作成ができるようになった。（2 人）

- 受講者の知識を向上させ、ベトナムで実践できると思う。
- すべての内容
- 有意義な機会でした。今回の問題作成方法は、ベトナムにおいて他の職種にも実践できると思う。
引き続き日本の支援をお願いします。
- 日本方式の問題作成方法が勉強になった。

【改善点・提案】

- 専門性を向上させるためには、専門家に引き続きご指導いただきたい。
- 専門家に引き続き問題作成技術を指導していただきたい。
- 研修が終了してから、Study tour 又は手本となる機械検査の技能検定を見学させてほしい。
- 実施時間を延ばしてほしい（4 日間）。
- プロジェクトに参加しているが、機械検査職種を実施したことがない他の短大でも実施してほしい。機械検査に係る教員を本邦研修に参加させてほしい。

【意見・感想・実施希望】

- 製品の検査、品質評価
- CAD
- 機械検査の職種をベトナムで普及させる必要があります。機械検査の技能基準の作成にあたって、日本の支援をお願いします。

◆現地責任者

継続期待度： 是非とも継続すべき＝1 人

【改善点・提案】

- 研修の時間を延ばし、トライアルの実施回数を増やしてほしい。

【意見・感想・実施希望】

- 機械検査 2 級の問題作成に関する支援をお願いします。
- 機械加工の技術者が必要となる能力をつけるために、2 次元・3 次元 CAD の職種に関する支援をお願いします。